

和合地区都市再生整備計画事業 事後評価について

和合地区都市再生整備計画事業について

《事業概要》

- 事業期間：平成 24 年度～平成 28 年度（5年間）
- 区域面積：303ha
- 事業費：総事業費：639.4 百万
- 主な事業：道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設他

《大目標》

地域の魅力を継承し、みんなが誇りをもち、協力し合えるまちづくりを行う。

- 目標 1：地域の人々が繋がり、支え合えるコミュニティの拡大
- 目標 2：互いに思いやり安全・安心に暮らせる生活環境の向上
- 目標 3：地域の自然や歴史的資源を活かし、地域の魅力を高め、地域間交流の拡大を図る

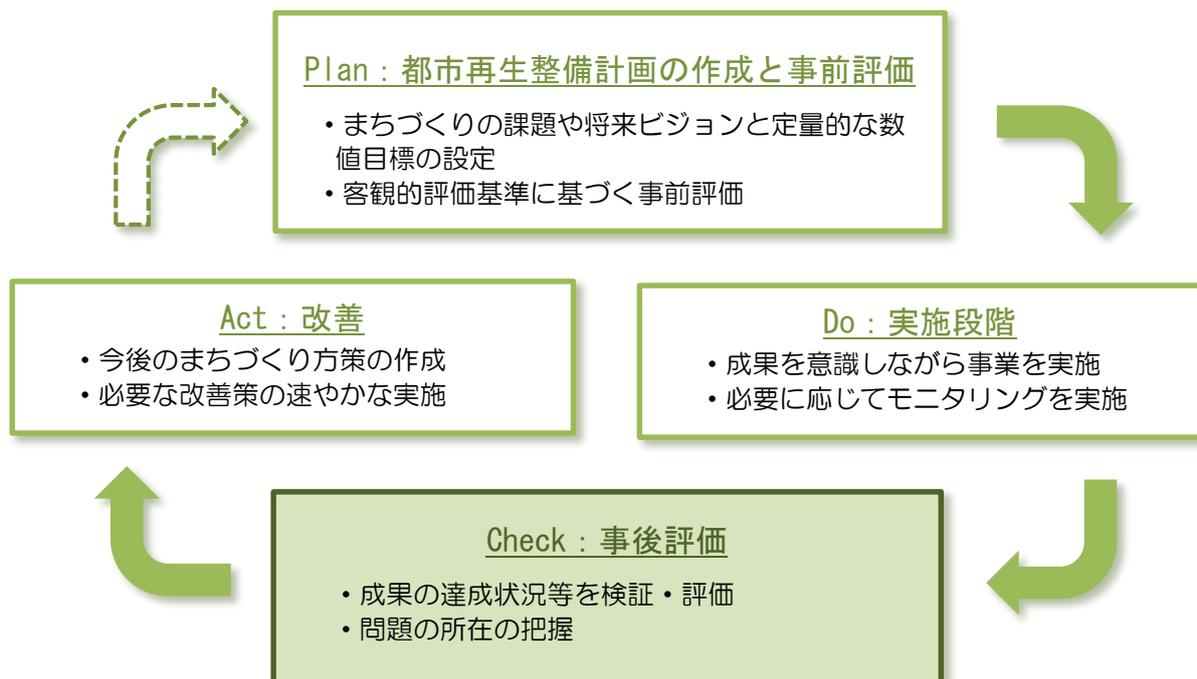
《地区の課題》

- 課題 1：コミュニティ形成のための環境整備
- 課題 2：安心の生活環境の確保
- 課題 3：地域資源の活用と交流機会の創出

事後評価とは

事後評価とは、都市再生整備計画事業の成果等を検証するものであり、事業がもたらした成果等を客観的に診断し、今後のまちづくりを適切な方向で実施すること、及び事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的としています。

■ 都市再生整備計画における PDCA サイクルの考え方



目標を定量化する指標について

都市再生整備計画では、具体的な成果の目標を示すために、目標を定量化する指標と数値目標を設定します。事後評価時には事業効果がどの程度表れているかを把握して、目標の達成状況を検証します。

和合地区都市再生整備計画事業

《地区の課題》

- 課題 1：コミュニティ形成のための環境整備
- 課題 2：安全・安心の生活環境の確保
- 課題 3：地域資源の活用と交流機会の創出

《大目標》

地域の魅力を継承し、みんなが誇りをもち、協力し合えるまちづくりを行う。

- 目標 1：地域の人々が繋がり、支え合えるコミュニティの拡大
- 目標 2：互いに思いやり安全・安心に暮らせる生活環境の向上
- 目標 3：地域の自然や歴史的資源を活かし地域の魅力を高め、地域間交流の拡大を図る

目標を達成するための整備方針

《整備方針》

- 整備方針 1：地域を繋げるコミュニティの活性化
- 整備方針 2：安全・安心の生活環境の向上
- 整備方針 3：魅力ある地域資源の活用と地域間交流の拡大



地域交流センター



防災拠点施設整備(備蓄倉庫)



広場整備

事業効果をわかりやすく説明する

《目標を定量化する指標》

- 指標 1：まちづくり・コミュニティ活動開催数の増加（149回/年⇒目標 220回/年）
- 指標 2：住民満足度の向上（満足度 40.1%⇒目標 45.0%）
- 指標 3：イベント・地域づくり活動参加者数の増加（1,200人/年⇒2,030人/年）